



TOPICS

- ・早瀬監督紹介
- ・春季リーグ戦日程
- ・小中体験入部
- ・淀川大清掃
- ・冬季合宿
- ・春季キャンプ
- ・主務挨拶
- ・春季リーグ戦への意気込み
- ・OB 特集



# 早瀬監督就任 ～新体制始動～

早瀬万豊監督が就任後、初めて行われたミーティングで1枚のプリントが部員全員に渡されました。「全国制覇」という大きな文字が印象的なそのプリントには、平成26年度の執行方針が書かれており、新チームに対する監督からの熱い思いが伝わってきました。新体制になってからは練習前の集合で一人の部員がランダムに選ばれ、全員の前でこの執行方針を読むことが日課となり、日頃からチームの方針を意識することができています。また、監督自身も投手、野手関わりなく、多くの選手を熱心にご指導して下さり、時には自ら打撃投手を務めてくださるなど、より近くで選手に接している姿がとても印象的です。間もなく迎える創部100周年という節目に向け、大きな花を咲かせることができるよう19年ぶりのリーグ優勝、そして全国制覇に向け、部員一同精進してまいります。

今年の1月より監督に就任致しました早瀬と申します。強くて、いい野球部を目指し、学生が卒業時に関西大学また関大野球部に入り、本当に良かったと言えるような取り組みを実践してまいります。また、「明るさと逞しさ」で皆様の期待に応えられるよう、ひたむきに取り組んでまいります。今後の関大野球部に期待いただき、ご声援のほどよろしくお願い致します。



4月	対戦相手
5 土	開会式(わかさスタジアム京都)9:30～ 同志社大学1回戦(わかさスタジアム京都)13:00～
6 日	同志社大学2回戦(わかさスタジアム京都)10:30～
7 月	3回戦
19 土	立命館大学1回戦(皇子山)10:30～
20 日	立命館大学2回戦(皇子山)13:00～
21 月	3回戦
26 土	近畿大学1回戦(南港中央)10:30～
27 日	近畿大学2回戦(南港中央)13:00～
28 月	3回戦

5月	対戦相手
5 月	関西学院大学1回戦(甲子園)13:00～
6 火	関西学院大学2回戦(甲子園)13:00～
7 水	3回戦
17 土	京都大学1回戦(南港中央)10:30～
18 日	京都大学2回戦(南港中央)13:00～
19 月	3回戦
21 水	閉会式(わかさスタジアム京都)試合終了後

## 春季リーグ戦日程

# 小中体験入部

1月26日に関西大学スポーツ振興グループ主催の小中体験入部に参加しました。前日の雨の影響でグラウンドが使用できるか不安でしたが、無事行うことができました。日頃は技術指導を受ける立場ですが、今回は逆の立場となり、指導することの難しさを身を持って体験することができました。また、多くの子どもたちに野球の楽しさを伝える1日になったのではないのでしょうか。



# 淀川大清掃

2月22日に関西大学とミズノ株式会社による提携事業として淀川清掃に参加しました。一見きれいに見える淀川の河川敷ですが、中に入り掃除すると、たくさんのゴミが至る所に落ちていました。ごみの総重量は4、5トンということでしたが、まだまだたくさんのゴミがあると思います。また他クラブとの交流もあり、近況報告するなど部員にとっては刺激になりました。



# 冬季合宿



2月12日から15日まで、高槻キャンパス内にあるセミナーハウス高岳館にて、3泊4日の冬季合宿が行われました。雪の影響でグラウンドが十分に利用できない日が続き、思うように練習することができませんでした。しかし、限られた場所を有効に利用しながらトレーニングや体幹などのメニューをこなしました。選手間でのミーティングは毎日行われ、幹部をはじめ、4年生が中心となりチームの課題や今後の練習への取り組み方などについて話し合われました。下級生からも様々な意見が出され、お互いの意見を共有し合う機会となりました。また、早瀬監督からは試合時のサインの確認が行われ、実戦に向け、新たなスタートを切ることができました。

## ◇講演会◇

今回の合宿では毎晩講演会が行われました。初日は管理栄養士の方をお招きし「スポーツ選手の食事について」をテーマにお話ししていただきました。バランスの良い食事のとり方や水分補給の必要性など、スポーツを行う上で知っておかなければいけない栄養に関する知識を詳しく教えていただくことができ、食生活を見直す良い機会となりました。2日目には元日刊スポーツ記者の宇佐見氏より野球部を取り巻くマスコミに関するお話がありました。伝統のある関大野球部の一員としての誇りを持ち、普段から礼儀正しい行動を心がけるよう再認識することができました。3日目には中本コーチより体幹についてのお話があり、怪我をしないため普段から正しいトレーニング方法で体幹を鍛えなければ意味がないと教えていただきました。そして、講演中には実際に二人一組でトレーニングを行い、感覚をつかむことができました。これら3つの貴重なお話を今後の現役生活に生かしてほしいと思います。



# 春季キャンプ



3月2日(日)から12日(水)までの

10泊11日で安芸キャンプが行われました。写真・木村OB会長

左・横山安芸市長 右・楠見学長

5日(水)を除いては天候に恵まれ、温暖な気候の中、有意義な練習ができました。全体練習以外にも全員で夕食後にトレーニングを行い、指名された選手が朝・昼・晩と特打・特守を行い、このキャンプで格段に増えた練習量が力になり、自信になったことだと思います。例年以上に紅白戦が多々生まれ、練習と実践を交互に行うことで、新たな課題の発見と克服ができたのではないのでしょうか。10日(月)には、早瀬監督就任後初となるオープン戦が行われました。2試合とも龍谷大学から白星をあげることができ、幸先の良いスタートを切りました。また、現地の方や学校関係者の方、保護者の方など多数が球場まで足を運んで下さいました。関西大学の楠見晴重学長や横山幾夫安芸市長から、「今年こそは、リーグ優勝を成し遂げて欲しい」という激励の言葉をいただき、応援して下さいることへの感謝の気持ちとともに、今年是一段と周囲から期待されているということを再確認しました。



## ◇ 演芸 ◇

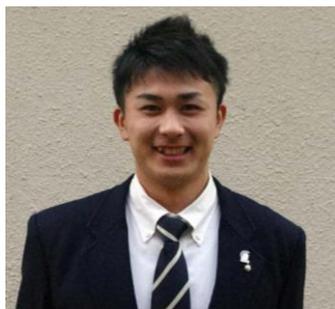
キャンプ恒例の演芸。今年も最終日前夜に行われました。新2年生がコンビやトリオを組み、ネタを披露しました。会場は終始笑いに包まれ、和やかな雰囲気でした。見事1位に輝いたのは、平松(商2・京都成章)、三浦(商2・東海大仰星)ペア。芸人のネタを関大野球部用にアレンジし、圧倒的な得票数を獲得しました。2位は河内(総情2・五條)、森島(文2・大阪桐蔭)ペア、3位は金井(社2・新田)、小橋(商2・岡山南)ペアでした。昨年の演芸で1位~3位を受賞した者もプレイバックし、一夜限りのコンビが再結成されました。就活中の4年生も最上級生らしく息がぴったりと合った圧巻のネタを披露しました。早瀬監督から「こんな面白いネタができるなら、リーグ戦も楽しみだ!」という言葉を受けました。たくさんの笑い声に包まれた楽しい演芸となり、いい形でキャンプを締めくくることができました。



# 詳しくはホームページをご覧ください

# 主務挨拶

主務・鍋島 庸高（人間3・桃山学院）



いつも関西大学体育会野球部にご声援いただきありがとうございます。

今年の1月より早瀬新監督の下「全国制覇」を目標に掲げ、全体練習の時間も以前より延長し、全

部員が「覚悟」を持ち日々の練習に取り組んでいます。今年のチームは昨年のリーグ戦を経験しているメンバーが数多く残っているのと同時に、昨年の悔しさも味わっています。「なぜ勝てなかったのか、なぜ優勝できなかったのか」を部員一人一人が真剣に考え、新チーム結成から現在まで練習を積み重ねてきました。また野球部は来年で創部100年を迎えます。先輩方が築き上げてこられた伝統を継承し、優勝の報告ができるように部員一同努力してまいります。今後とも関西大学体育会野球部に温かいご声援宜しくお願い致します。

# リーグ戦意気込み

主将・江原 祥太（人間4・履正社）



いつも温かいご支援、ご声援ありがとうございます。今年のスローガンである「覚悟」をチーム全体で常に持ち続け日々の練習に取り組んできました。また、昨年にはな

かった実践的なメニューを多く取り入れることで、チームはもちろん、個人のレベルアップにも繋げることができました。春季リーグ戦では目の前の一勝にこだわっていきたくて考えています。

ただ結果だけを求めるのではなく、試合以外でも他の大学を圧倒できるような行動を心がけていきます。ぜひ球場へ足を運んでいただき、一緒に戦いましょう！！応援よろしくお祈りします。



# OB 特集 ~春季キャンプ訪問~

3月2日から行っておりました春季キャンプに、木村OB会長をはじめ、窪田氏（S50入）、春川氏（S56入）、石川氏（S57入）、西原氏（S57入）が現役選手を激励に来られました。

OBの方々から「元気があり、主将を中心に自分たちで考え、行動している」ということお言葉をいただきました。宿舍の山登家についても、昔から変わっていないと懐かしながらお話をされていました。また、グラウンド内ではノックやバッティングの指導などをして下さり、選手にとって非常に有意義な時間となりました。

OBの方と実際にお会いすることで、皆様方に応援していただいていることを、より一層感じることができました。皆様の期待に応えられるように、今後も精進して参ります。



集合写真

左から

- \*石川氏
- \*春川氏
- \*木村会長
- \*早瀬監督
- \*窪田氏
- \*西原氏